

交付運用報告書

ハッピーエイジング・ファンド

ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30 ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50 ハッピーエイジング60

追加型投信／内外／資産複合

作成対象期間（2015年7月16日～2016年7月15日）

第16期（決算日 2016年7月15日）

第16期末（2016年7月15日）					
	ハッピーエイジング20	ハッピーエイジング30	ハッピーエイジング40	ハッピーエイジング50	ハッピーエイジング60
基準価額	11,099円	11,894円	12,636円	13,007円	12,843円
純資産総額	7,416百万円	9,226百万円	11,857百万円	5,689百万円	3,737百万円
騰落率※	△18.0%	△14.7%	△8.5%	△2.5%	3.6%
期中分配金合計	0円	0円	0円	0円	0円

※騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ハッピーエイジング・ファンド」は、このたび第16期の決算を行いました。

当ファンドは、日本及び世界各国の株式や公社債を実質的な主要投資対象とし、中長期的に信託財産の着実な成長を目標として運用を行います。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧方法>

右記URLにアクセスし、「ファンド検索」等から、当ファンドのページを表示させることにより、運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル



<http://www.sjnk-am.co.jp/>

お問い合わせ先

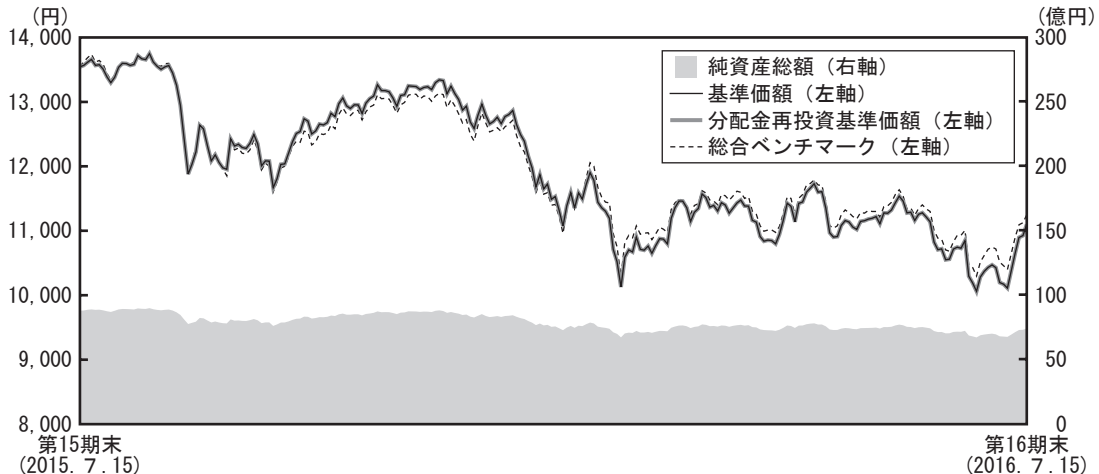


クライアントサービス第二部 0120-69-5432
(受付時間 営業日の午前9時～午後5時)

運用経過

■ 基準価額の推移

(ハッピーエイジング20)



第16期首：13,543円

第16期末：11,099円（期中分配金合計0円）

騰落率：△18.0%（分配金再投資基準価額ベース）

- ・分配金再投資基準価額および総合ベンチマークの推移は、2015年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドの総合ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した指数で、設定日を10,000として、委託会社にて指数化したものです。

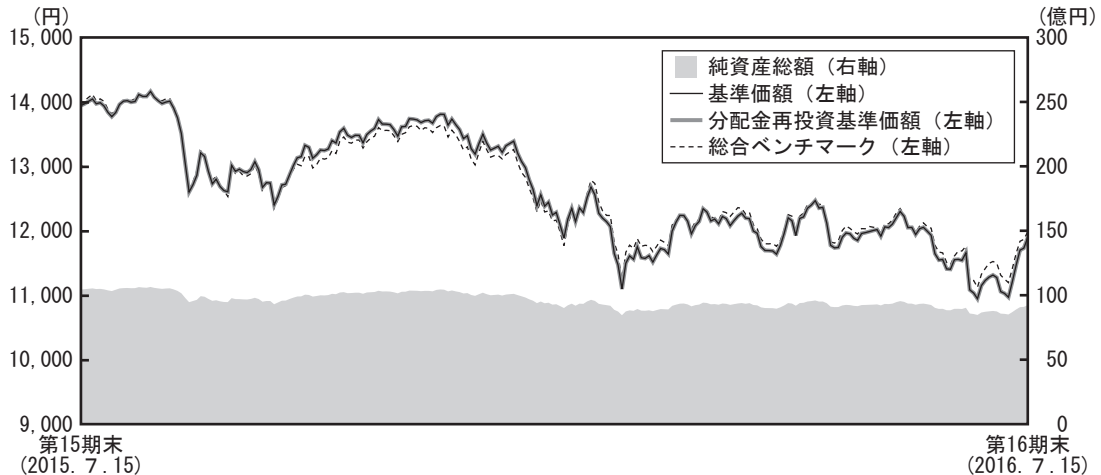
■ 基準価額の主な変動要因

(ハッピーエイジング20)

当期間、「損保ジャパン日本債券マザーファンド」の基準価額は上昇しましたが、「S J A M ラージキャップ・バリュウ・マザーファンド」、「S J A M スモールキャップ・マザーファンド」、「損保ジャパン-T C W 外国株式マザーファンド」、「損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド」、「エマージング株式」の基準価額が下落したため、当ファンドの基準価額は下落しました。国内株式や外国株式などの下落が主な値下がり要因となりました。

■ 基準価額の推移

(ハッピーエイジング30)



第16期首：13,944円

第16期末：11,894円（期中分配金合計0円）

騰落率：△14.7%（分配金再投資基準価額ベース）

- ・分配金再投資基準価額および総合ベンチマークの推移は、2015年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドの総合ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した指数で、設定日を10,000として、委託会社にて指数化したものです。

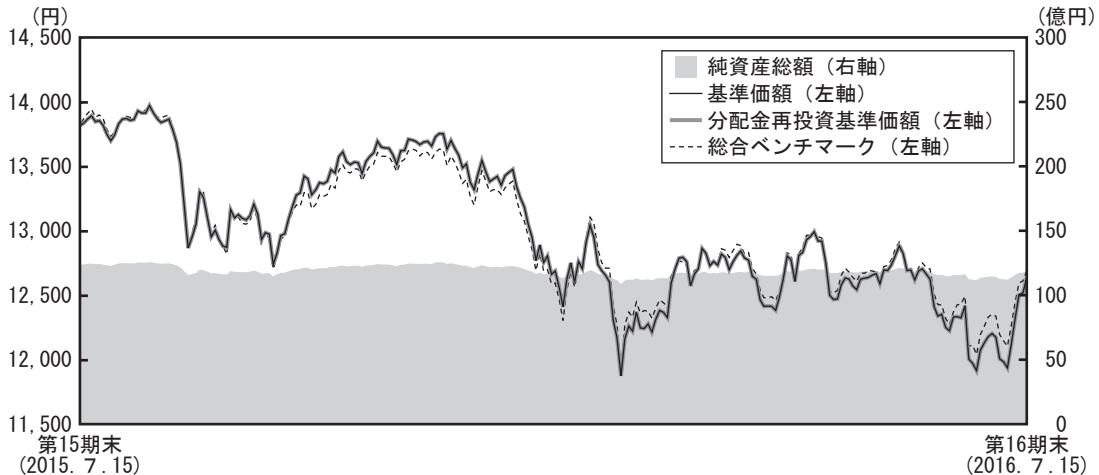
■ 基準価額の主な変動要因

(ハッピーエイジング30)

当期間、「損保ジャパン日本債券マザーファンド」の基準価額は上昇しましたが、「S J A M ラージキャップ・バリュエ・マザーファンド」、「S J A M スモールキャップ・マザーファンド」、「損保ジャパン-T C W 外国株式マザーファンド」、「損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド」、「エマーシング株式」の基準価額が下落したため、当ファンドの基準価額は下落しました。国内株式や外国株式などの下落が主な値下がり要因となりました。

■ 基準価額の推移

(ハッピーエイジング40)



第16期首：13,816円

第16期末：12,636円 (期中分配金合計0円)

騰落率：△8.5% (分配金再投資基準価額ベース)

- ・分配金再投資基準価額および総合ベンチマークの推移は、2015年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドの総合ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した指数で、設定日を10,000として、委託会社にて指数化したものです。

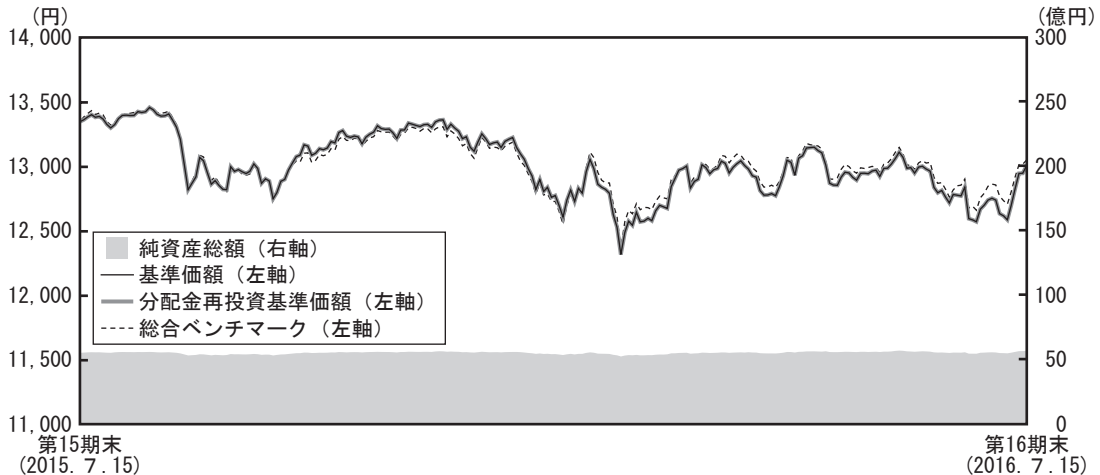
■ 基準価額の主な変動要因

(ハッピーエイジング40)

当期間、「損保ジャパン日本債券マザーファンド」の基準価額は上昇しましたが、「S J AM ラージキャップ・バリュエ・マザーファンド」、「S J AM スモールキャップ・マザーファンド」、「損保ジャパン-T CW 外国株式マザーファンド」、「損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド」、「エマージング株式」の基準価額が下落したため、当ファンドの基準価額は下落しました。国内株式や外国株式などの下落が主な値下がり要因となりました。

■ 基準価額の推移

(ハッピーエイジング50)



第16期首：13,347円
 第16期末：13,007円（期中分配金合計0円）
 騰落率：△2.5%（分配金再投資基準価額ベース）

- ・分配金再投資基準価額および総合ベンチマークの推移は、2015年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドの総合ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した指数で、設定日を10,000として、委託会社にて指数化したものです。

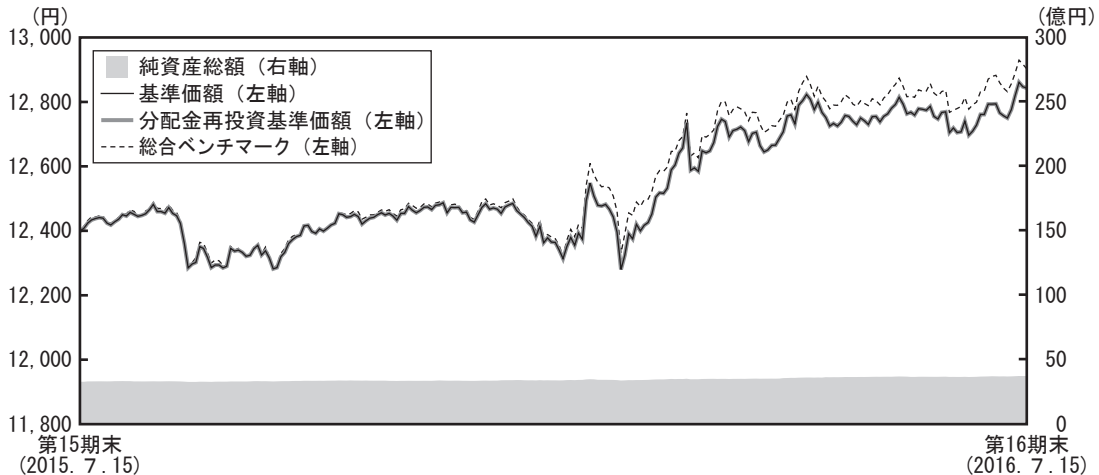
■ 基準価額の主な変動要因

(ハッピーエイジング50)

当期間、「損保ジャパン日本債券マザーファンド」の基準価額は上昇しましたが、「S J A M ラージキャップ・バリュアー・マザーファンド」、「S J A M スモールキャップ・マザーファンド」、「損保ジャパン-T C W 外国株式マザーファンド」、「損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド」、「エマーシング株式」の基準価額が下落したため、当ファンドの基準価額は下落しました。国内株式や外国株式などの下落が主な値下がり要因となりました。

■ 基準価額の推移

(ハッピーエイジング60)



第16期首：12,399円

第16期末：12,843円（期中分配金合計0円）

騰落率：3.6%（分配金再投資基準価額ベース）

- ・ 分配金再投資基準価額および総合ベンチマークの推移は、2015年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・ 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・ 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・ 当ファンドの総合ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した指数で、設定日を10,000として、委託会社にて指数化したものです。

■ 基準価額の主な変動要因

(ハッピーエイジング60)

当期間、「S J AMラージキャップ・バリュール・マザーファンド」、「S J AMスモールキャップ・マザーファンド」、「損保ジャパンTCW外国株式マザーファンド」、「損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド」の基準価額は下落しましたが、「損保ジャパン日本債券マザーファンド」の基準価額が上昇したため、当ファンドの基準価額は上昇しました。国内債券の上昇が主な値上がり要因となりました。

■ 基準価額の主な変動要因**(S J A M ラージキャップ・バリュール・マザーファンド)**

騰落率は-24.2%となりました。当ファンドの騰落率はベンチマークを上回りましたが、同期間の国内株式市場が下落したことから、当ファンドの基準価額も下落しました。

個別銘柄では、三井住友フィナンシャルグループ、ジェイ エフ イー ホールディングス、日立製作所、本田技研工業、マツダ、第一生命保険などの保有がマイナス要因になりました。

(S J A M スモールキャップ・マザーファンド)

騰落率は-11.2%となりました。当ファンドの騰落率はベンチマークを下回り、また同期間の国内株式市場が下落したことから、当ファンドの基準価額も下落しました。

個別銘柄では、ゼビオホールディングス、日立工機、新光電気工業、東和薬品、エクセディ、ミツミ電機などの保有がマイナス要因になりました。

(損保ジャパン日本債券マザーファンド)

期中の騰落率は+8.5%となりました。債券の利回りが低下（価格は上昇）したことから基準価額は上昇しました。

(損保ジャパン-T C W 外国株式マザーファンド)

期中の騰落率は-19.1%となりました。

ファンドで保有する株式の価格下落に加えて、円高・ドル安等の為替要因がマイナスに寄与しました。

(損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド)

期中の騰落率は-7.8%となりました。

債券利回りの低下（価格は上昇）したことから債券要因はプラスとなりましたが、円高ドル安による為替要因のマイナスが大きかったことから、基準価額は下落しました。

■ 1万口当たりの費用明細
(ハッピーエイジング20)

項目	第16期		項目の概要
	(2015年7月16日～2016年7月15日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	209円	1.750%	(a) 信託報酬 = $\frac{\text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率 (年率)} \times \text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は11,938円です。
(投信会社)	(86)	(0.722)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(112)	(0.942)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(10)	(0.086)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	17	0.140	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(株式)	(16)	(0.135)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託受益証券)	(1)	(0.005)	
(投資証券)	(0)	(0.001)	
(c) 有価証券取引税	0	0.004	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(株式)	(0)	(0.004)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)	
(投資証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	4	0.033	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(3)	(0.028)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	230	1.927	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(ハッピーエイジング30)

項目	第16期		項目の概要
	(2015年7月16日～2016年7月15日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	198円	1.565%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は12,621円です。 ファンドの運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(投信会社)	(82)	(0.646)	
(販売会社)	(105)	(0.833)	
(受託会社)	(11)	(0.086)	
(b) 売買委託手数料	14	0.112	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(13)	(0.107)	
(投資信託受益証券)	(1)	(0.005)	
(投資証券)	(0)	(0.001)	
(c) 有価証券取引税	0	0.003	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.003)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)	
(投資証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	4	0.028	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用 監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用 信託事務の処理にかかるその他の費用等
(保管費用)	(3)	(0.024)	
(監査費用)	(0)	(0.003)	
(その他)	(0)	(0.001)	
合計	216	1.708	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万円当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(ハッピーエイジング40)

項目	第16期		項目の概要
	(2015年7月16日～2016年7月15日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	179円	1.381%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は12,986円です。 ファンドの運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(投信会社)	(74)	(0.573)	
(販売会社)	(95)	(0.732)	
(受託会社)	(10)	(0.075)	
(b) 売買委託手数料	10	0.080	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(10)	(0.075)	
(投資信託受益証券)	(1)	(0.005)	
(投資証券)	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	0	0.002	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.002)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)	
(投資証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	3	0.020	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用 監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用 信託事務の処理にかかるその他の費用等
(保管費用)	(2)	(0.018)	
(監査費用)	(0)	(0.002)	
(その他)	(0)	(0.001)	
合計	193	1.482	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万円当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(ハッピーエイジング50)

項目	第16期		項目の概要
	(2015年7月16日～2016年7月15日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	156円	1.197%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は13,010円です。 ファンドの運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(投信会社)	(68)	(0.521)	
(販売会社)	(80)	(0.612)	
(受託会社)	(8)	(0.065)	
(b) 売買委託手数料	6	0.048	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(6)	(0.045)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.003)	
(投資証券)	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.001)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)	
(投資証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	2	0.017	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用 監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用 信託事務の処理にかかるその他の費用等
(保管費用)	(1)	(0.011)	
(監査費用)	(1)	(0.005)	
(その他)	(0)	(0.001)	
合計	164	1.263	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万円当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(ハッピーエイジング60)

項目	第16期		項目の概要
	(2015年7月16日～2016年7月15日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	127円	1.013%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は12,537円です。 ファンドの運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(投信会社)	(57)	(0.458)	
(販売会社)	(63)	(0.500)	
(受託会社)	(7)	(0.054)	
(b) 売買委託手数料	2	0.016	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(2)	(0.016)	
(投資証券)	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.000)	
(投資証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	1	0.010	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用 監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用 信託事務の処理にかかるその他の費用等
(保管費用)	(1)	(0.005)	
(監査費用)	(1)	(0.005)	
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	130	1.039	

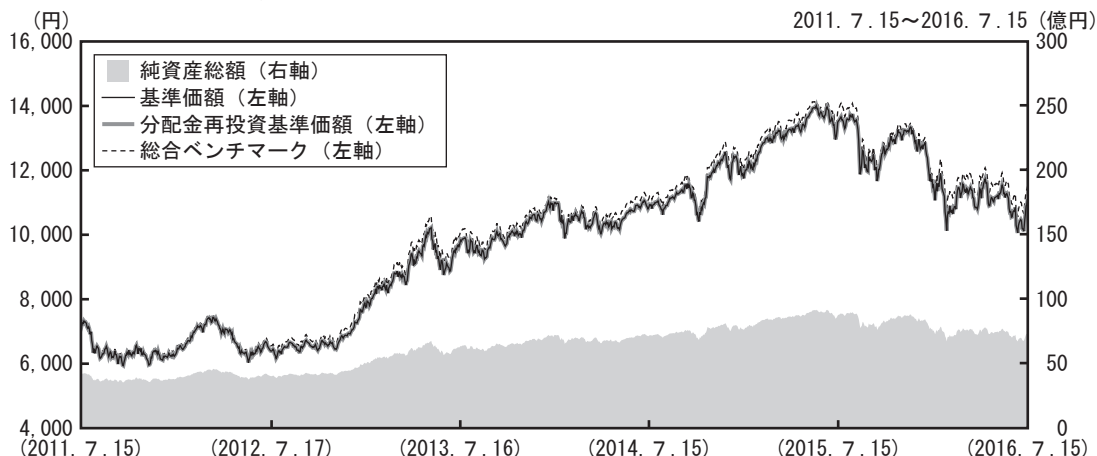
(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■最近5年間の基準価額等の推移

(ハッピーエイジング20)

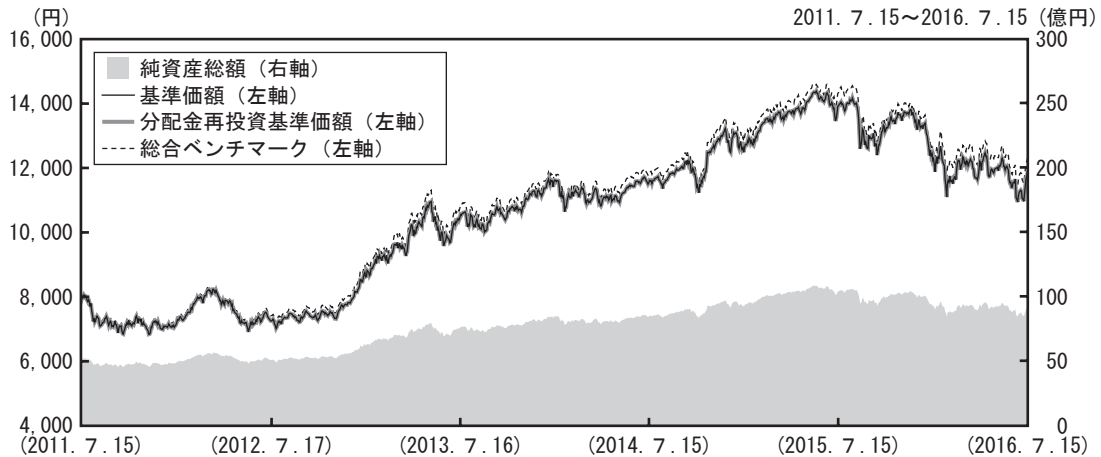


- ・分配金再投資基準価額および総合ベンチマークの推移は、2011年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドの総合ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した指数で、設定日を10,000として、委託会社にて指数化したものです。

決算日		2011年7月15日 決算日	2012年7月17日 決算日	2013年7月16日 決算日	2014年7月15日 決算日	2015年7月15日 決算日	2016年7月15日 決算日
基準価額	(円)	7,237	6,395	9,828	10,930	13,543	11,099
期中分配金合計 (税引前)	(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	△ 11.6	53.7	11.2	23.9	△ 18.0
ベンチマーク騰落率	(%)	—	△ 9.3	54.1	10.8	23.9	△ 17.0
純資産総額	(百万円)	4,207	4,034	6,375	7,212	8,801	7,416

ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した総合ベンチマークです。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(ハッピーエイジング30)

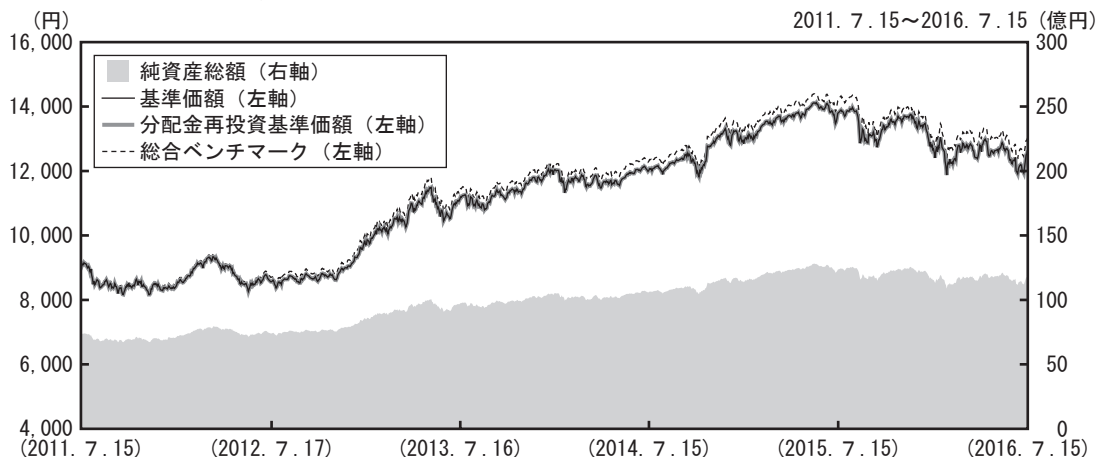


- ・分配金再投資基準価額および総合ベンチマークの推移は、2011年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドの総合ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した指数で、設定日を10,000として、委託会社にて指数化したものです。

決算日		2011年7月15日 決算日	2012年7月17日 決算日	2013年7月16日 決算日	2014年7月15日 決算日	2015年7月15日 決算日	2016年7月15日 決算日
基準価額	(円)	7,985	7,258	10,552	11,614	13,944	11,894
期中分配金合計（税引前）	(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	△ 9.1	45.4	10.1	20.1	△ 14.7
ベンチマーク騰落率	(%)	—	△ 7.1	46.2	9.7	20.6	△ 14.1
純資産総額	(百万円)	5,192	5,099	7,661	8,543	10,450	9,226

ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した総合ベンチマークです。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(ハッピーエイジング40)

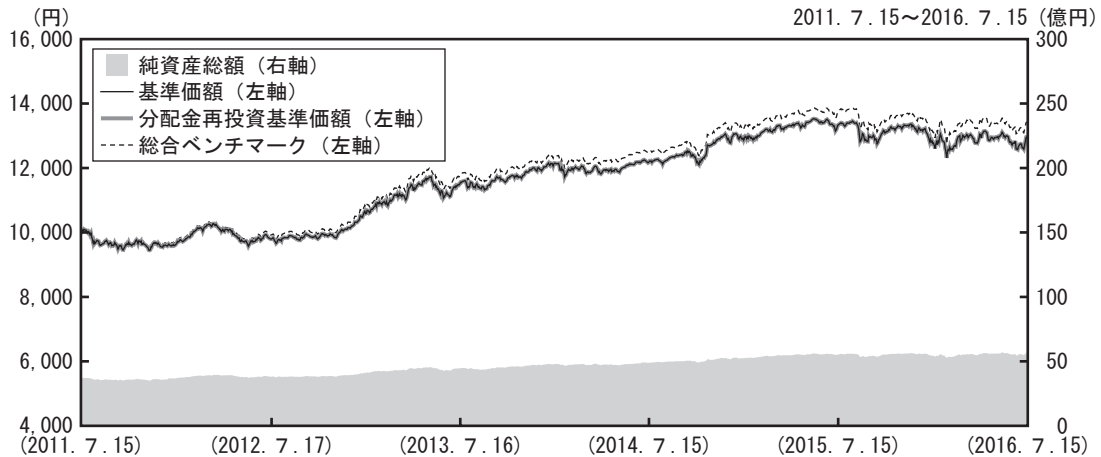


- ・分配金再投資基準価額および総合ベンチマークの推移は、2011年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドの総合ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した指数で、設定日を10,000として、委託会社にて指数化したものです。

決算日		2011年7月15日 決算日	2012年7月17日 決算日	2013年7月16日 決算日	2014年7月15日 決算日	2015年7月15日 決算日	2016年7月15日 決算日
基準価額	(円)	9,092	8,565	11,196	12,075	13,816	12,636
期中分配金合計 (税引前)	(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	△ 5.8	30.7	7.9	14.4	△ 8.5
ベンチマーク騰落率	(%)	—	△ 4.2	31.6	7.9	14.9	△ 8.2
純資産総額	(百万円)	7,355	7,397	9,756	10,651	12,378	11,857

ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した総合ベンチマークです。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(ハッピーエイジング50)

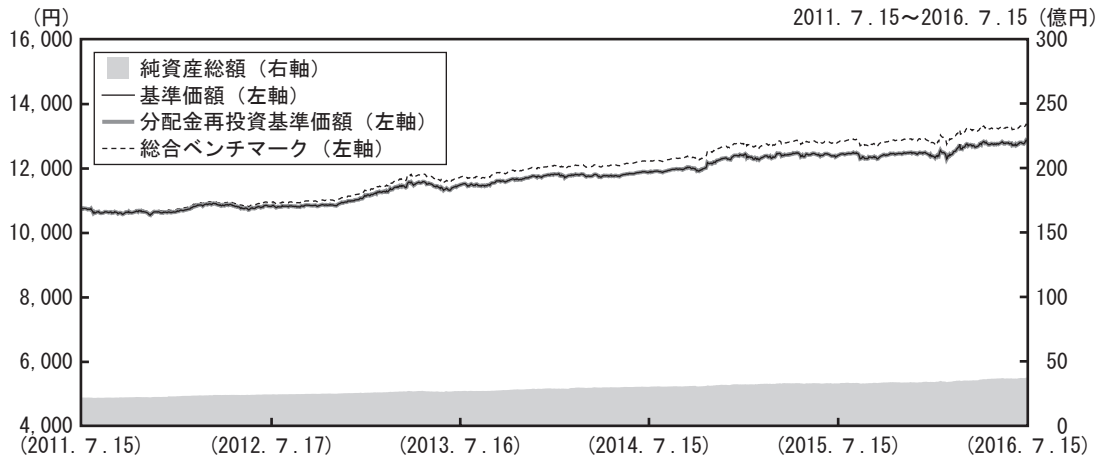


- ・分配金再投資基準価額および総合ベンチマークの推移は、2011年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドの総合ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した指数で、設定日を10,000として、委託会社にて指数化したものです。

決算日	2011年7月15日 決算日	2012年7月17日 決算日	2013年7月16日 決算日	2014年7月15日 決算日	2015年7月15日 決算日	2016年7月15日 決算日
基準価額 (円)	10,057	9,795	11,555	12,215	13,347	13,007
期中分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 2.6	18.0	5.7	9.3	△ 2.5
ベンチマーク騰落率 (%)	—	△ 1.3	19.0	6.0	9.8	△ 2.2
純資産総額 (百万円)	3,702	3,809	4,480	4,908	5,534	5,689

ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した総合ベンチマークです。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(ハッピーエイジング60)



- ・分配金再投資基準価額および総合ベンチマークの推移は、2011年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドの総合ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した指数で、設定日を10,000として、委託会社にて指数化したものです。

決算日		2011年7月15日 決算日	2012年7月17日 決算日	2013年7月16日 決算日	2014年7月15日 決算日	2015年7月15日 決算日	2016年7月15日 決算日
基準価額	(円)	10,737	10,812	11,485	11,883	12,399	12,843
期中分配金合計（税引前）	(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	0.7	6.2	3.5	4.3	3.6
ベンチマーク騰落率	(%)	—	1.8	7.3	4.2	4.8	4.1
純資産総額	(百万円)	2,184	2,434	2,695	3,031	3,292	3,737

ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した総合ベンチマークです。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

■投資環境

1. 国内株式市況

TOPIXは20.0%の下落となりました。

当期は、年明け以降進んだ円高が日本株式市場の重石となり、ほぼ全業種で下落となりました。期初は中国の景気減速懸念から世界的に株安となりましたが、その後、欧州・中国の緩和的な政策期待を背景に年末に向け株価は上昇に転じました。1月末に日銀によるマイナス金利政策が導入されると一時的には円安となり株高への期待が高まりましたが、原油価格の急落や追加利上げに対するFRB（米連邦準備理事会）の慎重な姿勢が嫌気され、株価は2014年の量的緩和前の水準まで下落しました。その後は3月期決算企業の業績悪化は限定的との見方から株価は堅調な展開となりました。6月末の英国国民投票でEU離脱派が勝利を取めると、為替は急進、株価も急落したものの、良好な米雇用統計や日本での政策期待から、株価は急落前の水準まで値を戻しました。

2. 国内債券市況

期初より、日銀による国債の大量買入れを背景に国内の金利は低下（価格は上昇）しました。

2016年1月29日に日銀が「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」の導入を決定したことを受けて、金利はさらに低下（価格は上昇）し、2月には、10年債の利回りがマイナスとなりました。その後は、プラスの金利を求める投資需要から、超長期ゾーンを中心に金利は低下（価格は上昇）しました。

米国の利上げ観測の後退や、英国のEU離脱問題からの世界経済先行き不安も、金利の低下要因となり、当期の10年債利回りの低下幅は0.60%以上となりました。

3. 外国株式市況

○米国株式市場

米国株式市場は、期初は概ね横ばいで推移した後、8月に入ると中国人民元の切り下げにより中国景気の先行き不透明感が強まったことを受け、大きく下落しました。

10月には、予想を下回る米国の雇用統計を受け早期の利上げ懸念が後退したこと、ECB（欧州中央銀行）による追加金融緩和期待が高まったことに加え、中国人民銀行（中央銀行）による金融緩和策が好感され反発し、その後は年末にかけて横ばい圏で推移しました。

1月に入り、中国本土株式市場や原油価格の急落をきっかけに米国株式市場も大きく下落しましたが、2月以降は原油等の商品市況の回復に伴い反発しました。その後は6月に英国のEU（欧州連合）離脱が決定したものの影響は限定的となり、期末にかけて底堅く推移しました。

○欧州株式市場

欧州株式市場は、期初は概ね横ばいで推移した後、8月に中国人民元の切り下げが発表されたことで、中国経済への依存度が高いと目されるドイツなどを中心に株式市場は大きく下落しました。

その後は米国の早期利上げ懸念の後退やECBによる追加緩和期待などから株価が反発した後、年末にかけて横ばい圏で推移しました。

年明け以降は中国本土株式市場や原油価格の下落に加え、欧州の一部銀行の経営不安が懸念され下落した後、原油価格の回復に伴い投資家心理が改善し株式市場も反発しました。6月には英国のEU離脱決定を受け一時的に下落したものの、イギリス・ボンドの急落が英国株式市場に好感されたことに加え、各国の政策期待などから期末にかけて底堅く推移しました。

○アジア株式市場

アジア株式市場は期初から予想を下回る中国の経済指標を受け下落基調となった後、8月に中国人民元の切り下げが発表されたことから中国景気に対する先行き不透明感が強まり、大きく下落しました。

10月には米国の早期利上げ懸念が後退したことや、予想を上回る中国の経済指標が発表されたことを受け反発し、その後は年末にかけて横ばい圏で推移しました。

1月には、中国本土株式市場や原油価格の下落を受けアジア株式市場も大きく下落しましたが、原油価格の反発や米国の追加利上げ懸念の後退を受け徐々に値を戻しました。6月に英国がEU離脱を決定したことによるアジア株式市場への影響は限定的となった一方で、米国の追加利上げ懸念が後退したことが好感され、期末にかけて堅調に推移しました。

4. 外国債券市況

○米国債券市場

当期の米国10年債利回りは、低下（価格は上昇）しました。

期初に2.3%台であった米国10年債利回りは、利上げを巡る思惑から、12月末までは2.2%前後で方向感のない動きとなりました。しかし、年明け後は、新興国経済中心に世界経済に対する先行き不安が高まったことから、利回りは2.0%を下回る水準まで低下しました。その後も、6月下旬に英国の国民投票結果がEU離脱支持となったことを受け、リスク回避の動きが強まったことから、利回りは一段と低下し、期末には1.5%台となりました。

○欧州債券市場

当期のドイツ10年債利回りは、低下（価格は上昇）しました。

期初に0.8%台であったドイツ10年債利回りは、ECB（欧州中央銀行）が12月と3月に追加の金融緩和を決定する中、低下基調が続き、期末には0.0%台となりました。特に、年明け後は、新興国経済中心に世界経済に対する先行き不安が高まったことや、6月下旬に英国の国民投票結果がEU離脱支持となったことを受け、リスク回避の動きが強まったことから、利回りは大幅に低下しました。

○為替相場

当期の米ドル円相場は、円高ドル安となりました。

期初に123円台であったドル円相場は、年明け後に新興国経済中心に世界経済に対する先行き不安が高まったことや、6月下旬に英国の国民投票結果がEU離脱支持となったことを受け、リスク回避の動きが強まったことから、円が大きく買われ、期末には105円台となりました。

■当該投資信託のポートフォリオ

各ファンドのアセットアロケーションにつきましては、当社が決定した基準資産配分比率を、各々ほぼ維持する戦略を採りました。

ハッピーエイジング20実質組入比率

	実質 組入比率	基本 アロケーション	差
国内債券	1.9%	2.0%	△0.1%
外国債券	5.7%	6.0%	△0.3%
国内株式	52.2%	52.0%	0.2%
外国株式	33.8%	33.0%	0.8%
エマーヅング株式	4.7%	5.0%	△0.3%
短期資産	1.6%	2.0%	△0.4%
合計	100.0%	100.0%	—

ハッピーエイジング30実質組入比率

	実質 組入比率	基本 アロケーション	差
国内債券	7.8%	8.0%	△0.2%
外国債券	19.4%	20.0%	△0.6%
国内株式	44.7%	44.0%	0.7%
外国株式	21.8%	21.0%	0.8%
エマーヅング株式	4.8%	5.0%	△0.2%
短期資産	1.5%	2.0%	△0.5%
合計	100.0%	100.0%	—

ハッピーエイジング40実質組入比率

	実質 組入比率	基本 アロケーション	差
国内債券	32.1%	33.0%	△0.9%
外国債券	14.9%	15.0%	△0.1%
国内株式	32.3%	31.0%	1.3%
外国株式	14.0%	14.0%	0.0%
エマーヅング株式	4.9%	5.0%	△0.1%
短期資産	1.7%	2.0%	△0.3%
合計	100.0%	100.0%	—

ハッピーエイジング50実質組入比率

	実質 組入比率	基本 アロケーション	差
国内債券	56.4%	57.0%	△0.6%
外国債券	11.2%	11.0%	0.2%
国内株式	19.6%	19.0%	0.6%
外国株式	8.2%	8.0%	0.2%
エマーヅング株式	3.0%	3.0%	0.0%
短期資産	1.6%	2.0%	△0.4%
合計	100.0%	100.0%	—

ハッピーエイジング60実質組入比率

	実質 組入比率	基本 アロケーション	差
国内債券	81.2%	82.0%	△0.8%
外国債券	6.2%	6.0%	0.2%
国内株式	6.3%	6.0%	0.3%
外国株式	4.2%	4.0%	0.2%
エマーヅング株式	0.0%	0.0%	0.0%
短期資産	2.1%	2.0%	0.1%
合計	100.0%	100.0%	—

(S J A M ラージキャップ・バリュー・マザーファンド)

期を通して株式の組入比率を高位に維持しました。期末の組入比率は、98.5%です。
 当期も、当社独自の株式評価モデルで算出した相対的割安度に基づき、銘柄入替を行いました。
 主な購入（ウェイトアップ）銘柄は、マツダ、住友金属鉱山、富士通などでした。
 主な売却（ウェイトダウン）銘柄は、ツムラ、J Xホールディングス、リコーなどでした。

(S J A M スモールキャップ・マザーファンド)

期を通して株式の組入比率を高位に維持しました。期末の組入比率は、99.4%です。
 当期も、当社独自の株式評価モデルで算出した相対的割安度に基づき、銘柄入替を行いました。
 主な購入（ウェイトアップ）銘柄は、ツムラ、日本ゼオン、七十七銀行などでした。
 主な売却（ウェイトダウン）銘柄は、青山商事、富士通ゼネラル、ユニーグループ・ホールディングスなどでした。

(損保ジャパン日本債券マザーファンド)

金利戦略は、イールドカーブの形状・歪みに着目した残存期間戦略を中心に行いました。具体的には、期初より中期をアンダーウェイトし、超長期をオーバーウェイトする戦略を継続しました。2016年1月以降は長期をアンダーウェイトし、30年ゾーンをオーバーウェイトする戦略を合わせて取りました。2016年4月には超長期の内、20年はオーバーウェイトし、30年超はアンダーウェイトする戦略に変更しました。

種別戦略は、事業債、円建外債、RMB Sのオーバーウェイト戦略を継続しました。
 個別銘柄戦略は、事業債、RMB Sを中心に割安な銘柄への投資を行いました。

(損保ジャパンーT C W外国株式マザーファンド)

期を通して株式等の組入比率を高位に維持しました。期末の組入比率（対純資産総額比）は、93.1%です。

(損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド)

期を通して債券の組入比率は概ね高位に維持しました。

・国別配分

利回り水準の高いイタリアをオーバーウェイトし、利回り水準が低く魅力に乏しいドイツ・フランス等をアンダーウェイトする戦略を4月まで継続しました。

期末にかけて、対ドルで割安なメキシコペソをオーバーウェイトし、ドルをアンダーウェイトする戦略およびドルをオーバーウェイトし、ポンドをアンダーウェイトする戦略を構築しました。

・デュレーション戦略

米国とユーロ圏において、デュレーションを長期化する戦略を基本とし、利回り水準に応じて、機動的にポジションを変更しました。

なお、為替ヘッジは行っておりません。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当期間、「S J AMスモールキャップ・マザーファンド」、「損保ジャパン日本債券マザーファンド」、「損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド」、「エマージング株式」の騰落率はベンチマーク（日本株式は対TOPIX）を上回りましたが、「S J AMラージキャップ・バリュース・マザーファンド」、「損保ジャパンTCW外国株式マザーファンド」の騰落率はベンチマーク（日本株式は対TOPIX）を下回りました。

その結果、各ファンドにおける総合ベンチマークとの差異及び差異要因は以下の通りとなりました。

（ハッピーエイジング20）

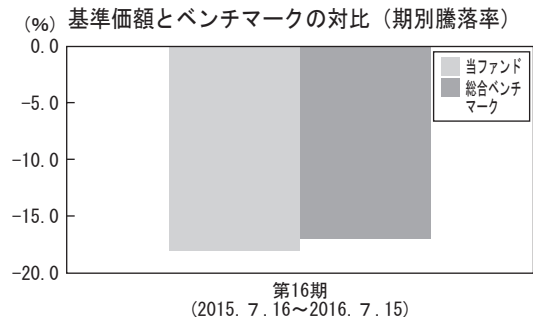
基準価額の騰落率は総合ベンチマークの騰落率（-17.0%）を1.1%下回りました。

【プラス要因】

個別資産要因

【マイナス要因】

信託報酬等



（ハッピーエイジング30）

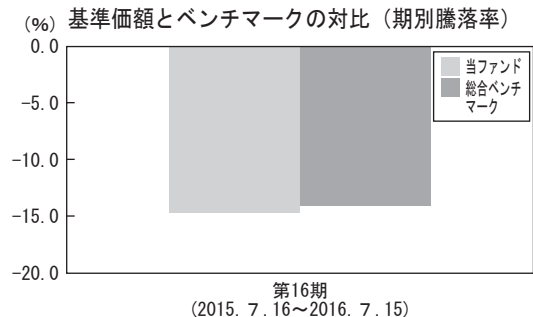
基準価額の騰落率は総合ベンチマークの騰落率（-14.1%）を0.6%下回りました。

【プラス要因】

個別資産要因

【マイナス要因】

信託報酬等



(ハッピーエイジング40)

基準価額の騰落率は総合ベンチマークの騰落率（-8.2%）を0.4%下回りました。

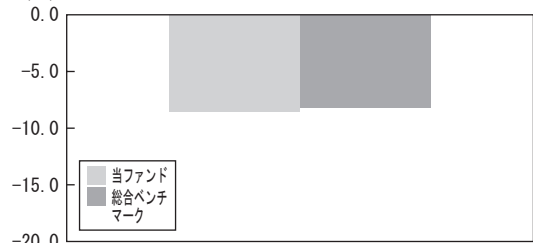
【プラス要因】

個別資産要因

【マイナス要因】

信託報酬等

(%) 基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



第16期
(2015. 7. 16~2016. 7. 15)

(ハッピーエイジング50)

基準価額の騰落率は総合ベンチマークの騰落率（-2.2%）を0.3%下回りました。

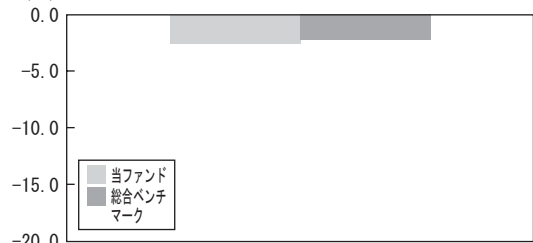
【プラス要因】

個別資産要因

【マイナス要因】

信託報酬等

(%) 基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



第16期
(2015. 7. 16~2016. 7. 15)

(ハッピーエイジング60)

基準価額の騰落率は総合ベンチマークの騰落率（+4.1%）を0.5%下回りました。

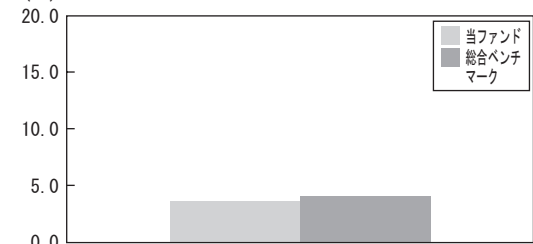
【プラス要因】

個別資産要因

【マイナス要因】

信託報酬等

(%) 基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



第16期
(2015. 7. 16~2016. 7. 15)

期を通じて各マザーファンドを組入れておりましたので、以下ではマザーファンドとベンチマークとの差異の要因分析等についてご説明致します。

＜S J A M ラージキャップ・バリュー・マザーファンドとベンチマークとの差異＞

マザーファンドの騰落率は、Russell/Nomura Large Cap Value インデックス（配当を含むトータルリターンインデックス）の騰落率（-24.9%）を0.7%上回りました。

業種構成では、情報・通信業のオーバーウェイトや、証券、商品先物取引業、電気・ガス業のアンダーウェイトなどがプラス要因に、海運業、銀行業のオーバーウェイトや医薬品のアンダーウェイトなどがマイナス要因になりました。

個別銘柄では、ヤマダ電機、ツムラ、リコーのオーバーウェイトなどがプラス要因に、フジ・メディア・ホールディングス、マツダ、日立製作所のオーバーウェイトなどがマイナス要因になりました。

＜S J A M スモールキャップ・マザーファンドとベンチマークとの差異＞

マザーファンドの騰落率は、Russell/Nomura Small Cap（配当を含むトータルリターンインデックス）の騰落率（-10.9%）を0.3%下回りました。

業種構成では、銀行業、証券、商品先物取引業のアンダーウェイトや小売業のオーバーウェイトなどがプラス要因に、食料品のアンダーウェイトや輸送用機器、倉庫・運輸関連業のオーバーウェイトなどがマイナス要因になりました。

個別銘柄では、エフ・シー・シー、阪和興業、ケーズホールディングスのオーバーウェイトなどがプラス要因に、ゼビオホールディングス、エイチ・アイ・エス、東和薬品のオーバーウェイトなどがマイナス要因になりました。

＜損保ジャパン日本債券マザーファンドとベンチマークとの差異＞

マザーファンドの騰落率は、ベンチマーク（NOMURA-BPI 総合指数）の騰落率（+7.9%）を0.6%上回りました。

金利戦略は主に、期を通じて中期をアンダーウェイトし、超長期をオーバーウェイトする戦略を中心に残存期間戦略が奏功し、プラスとなりました。

債券種別戦略は主に事業債、円建外債のオーバーウェイトがマイナスとなりました。

個別銘柄戦略は主に事業債・RMB S の銘柄選択がプラスとなりました。

＜損保ジャパン-T C W 外国株式マザーファンドとベンチマークとの差異＞

マザーファンドの騰落率は、ベンチマーク（MSCI コクサイ インデックス（円換算ベース））の騰落率（-17.2%）を1.8%下回りました。

市場配分要因がプラスに寄与した一方、銘柄選択要因がマイナスに寄与しました。

＜損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンドとベンチマークとの差異＞

マザーファンドの騰落率は、ベンチマーク（シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース））の騰落率（-8.5%）を0.7%上回りました。

イタリアをオーバーウェイトし、ドイツ・フランス等をアンダーウェイトするユーロ圏内の国別配分戦略を主因にプラスとなりました。

＜エマージング株式＞

ベンチマーク（MSCI エマージング・マーケット・インデックス（円換算ベース））の騰落率（-21.2%）を2.0%上回りました。

■分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、各ファンドで当期は分配は行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本部分と同一の運用を行います。

＜分配原資の内訳＞

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第16期				
	2015年7月16日～2016年7月15日				
	ハッピーエイジング20	ハッピーエイジング30	ハッピーエイジング40	ハッピーエイジング50	ハッピーエイジング60
当期分配金	—	—	—	—	—
（対基準価額比率）	—%	—%	—%	—%	—%
当期の収益	—	—	—	—	—
当期の収益以外	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	7,883	6,620	5,423	3,832	2,843

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。

また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■今後の運用方針

(ハッピーエイジング・ファンド)

マザーファンドの受益証券等への投資を通して、国内株式・国内債券にとどまらず世界各国の株式および債券に積極的に分散投資を行うことによって、リスクを軽減しつつ信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指します。

(S J A M ラージキャップ・バリュー・マザーファンド)

当社の投資哲学に基づいた運用プロセスを堅持し、独自の株式評価モデルで算出した相対的割安度に基づき銘柄を選択していくことを基本方針とします。今後も、固有の割安要因に着目した個別銘柄選択を中心とするポートフォリオ構築によって、中長期的に着実な信託財産の成長を目指します。

(S J A M スモールキャップ・マザーファンド)

当社の投資哲学に基づいた運用プロセスを堅持し、独自の株式評価モデルで算出した相対的割安度に基づき銘柄を選択していくことを基本方針とします。今後も、固有の割安要因に着目した個別銘柄選択を中心とするポートフォリオ構築によって、中長期的に着実な信託財産の成長を目指します。

(損保ジャパン日本債券マザーファンド)

金利戦略については、20年ゾーンをオーバーウェイトする戦略を基本とし、オーバーウェイト幅については相場環境に応じて機動的に変更する方針です。

債券種別戦略については、RMB S 中心に非国債をオーバーウェイトする戦略を継続します。
個別銘柄戦略は、A 格・B B B 格を中心に信用力対比で妙味のある銘柄の購入を検討します。

(損保ジャパン-T C W 外国株式マザーファンド)

外国株式市場は英国のEU離脱決定の影響を受け一時的にボラティリティが高まったものの、株価は足元で安定しています。一方で米国の早期の利上げ観測が後退している現状においては、低金利環境下で高い成長と安定したキャッシュフローが見込める企業に注目しています。

当ファンドは各ストラテジーの投資比率を適宜調整し、個別企業のファンダメンタルズ分析に注力し、いずれの景気局面においても恩恵を十分に受けられるポートフォリオを構築してまいります。

(損保ジャパン外国債券(為替ヘッジなし)マザーファンド)

国別配分については、メキシコペソをオーバーウェイトし、ドルをアンダーウェイトする戦略およびドルをオーバーウェイトし、ポンドをアンダーウェイトする戦略を継続します。

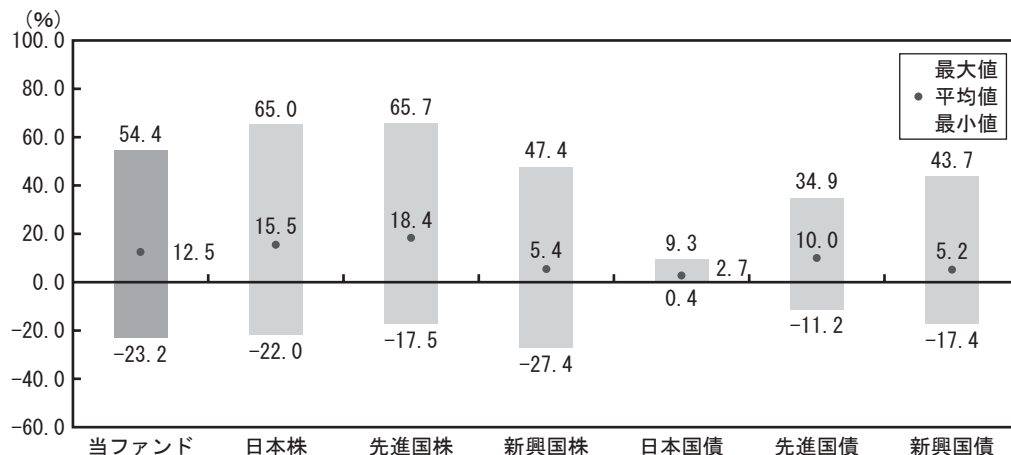
デュレーション・残存期間については、利回り水準に応じて、機動的にポジションを変更します。

■当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	無期限	
運用方針	中長期的に信託財産の着実な成長を目標として運用を行います。	
主要投資対象	ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30 ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50 ハッピーエイジング60	「S J A M ラージキャップ・バリュース・マザーファンド」、「S J A M スモールキャップ・マザーファンド」、「損保ジャパン日本債券マザーファンド」、「損保ジャパン-T C W 外国債券(為替ヘッジなし)マザーファンド」、「損保ジャパン-T C W 外国株式マザーファンド ^{※1} 」の受益証券およびエマージング株式又はエマージング株式を主要投資対象とする証券投資信託 ^{※2} ※1 運用スタイル毎のアロケーションと北米株式の運用指図に関する権限を、T C W INVESTMENT MANAGEMENT COMPANY に委託します。 ※2 パッシブ運用を行う証券投資信託受益証券を組入れる可能性があります。
	S J A M ラージキャップ・バリュース・マザーファンド	わが国の株式
	S J A M スモールキャップ・マザーファンド	わが国の株式
	損保ジャパン日本債券マザーファンド	日本の公社債
	損保ジャパン外国債券(為替ヘッジなし)マザーファンド	日本を除く世界各国の公社債
	損保ジャパン-T C W 外国株式マザーファンド	日本を除く世界各国の株式
運用方法	<p>①国内株式・国内債券にとどまらず世界各国の株式及び債券に積極的に分散投資を行うことによって、リスクを軽減しつつ信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指します。</p> <p>②長期的な視点から基準資産配分比率を決定し、当該比率をめどに投資を行います。基準資産配分比率は、次の手順で決定、見直しを行います。</p> <p>③各ファンドの運用は、以下の個別資産毎のベンチマーク(運用を評価するための指標)を基準資産配分比率で加重平均したものを総合ベンチマークとし、これを上回る運用成果を目指します。</p> <p>国内株式：東証株価指数(T O P I X) 国内債券：N O M U R A - B P I 総合指数 外国債券：シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース) 外国株式：M S C I コクサイ インデックス(円換算ベース) エマージング株式：M S C I エマージング・マーケット・インデックス(円換算ベース) 短期資産：有担コール翌日物</p>	
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子、配当収入と売買益(評価損益を含みます。)等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p>	

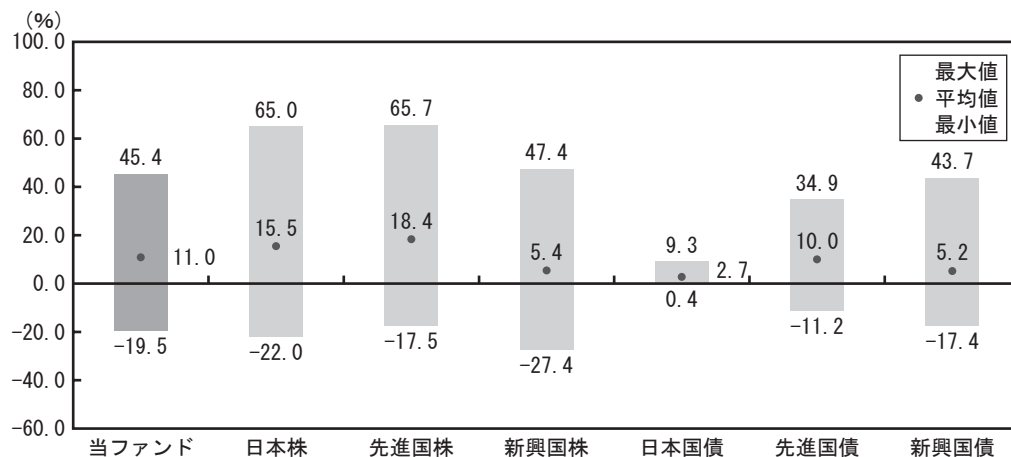
■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(ハッピーエイジング20)



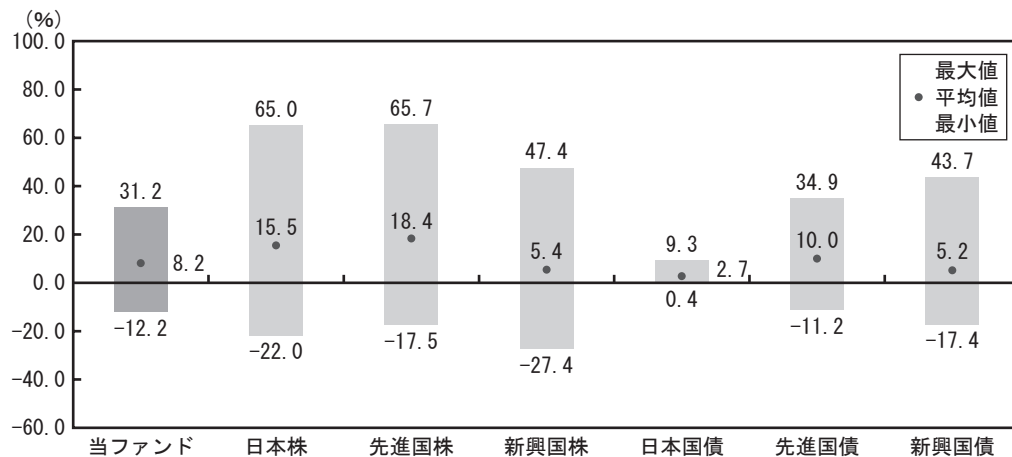
期間：2011年7月～2016年6月

(ハッピーエイジング30)



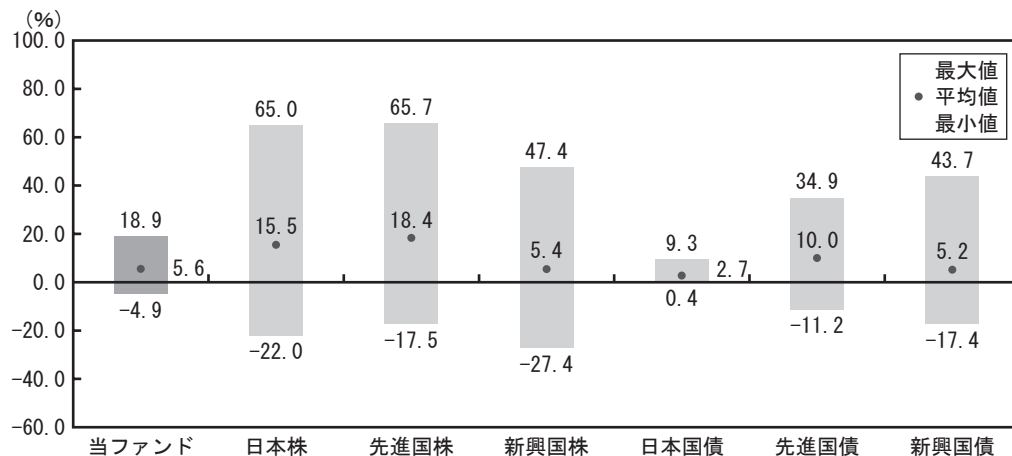
期間：2011年7月～2016年6月

(ハッピーエイジング40)



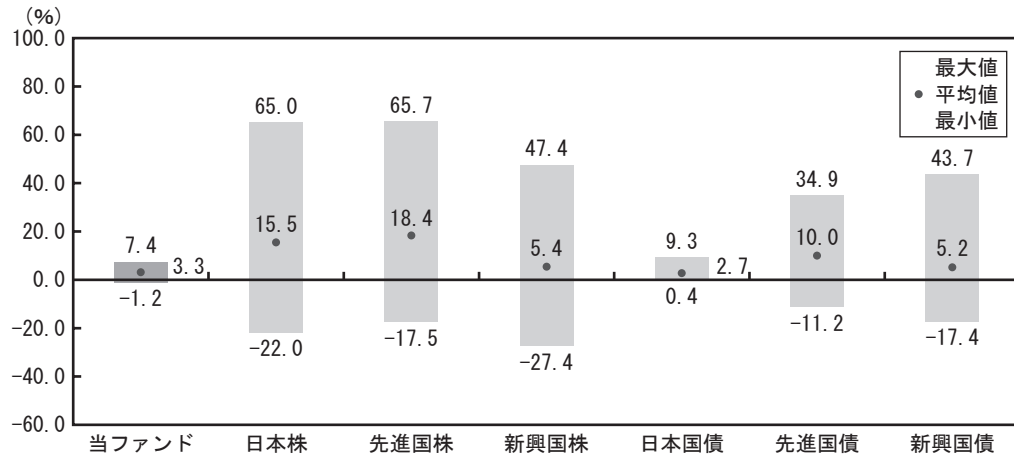
期間：2011年7月～2016年6月

(ハッピーエイジング50)



期間：2011年7月～2016年6月

(ハッピーエイジング60)



期間：2011年7月～2016年6月

* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、各ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI 国債

先進国債・・・シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

- ・当ファンドについては、分配金 (税引前) 再投資基準価額の騰落率です。
- ・全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

■当該投資信託の組入資産の内容

※全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

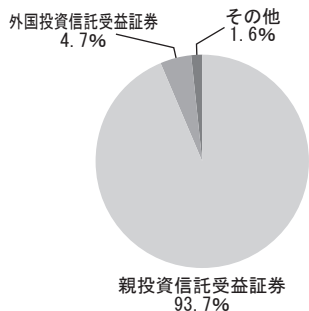
（ハッピーエイジング20）

○組入ファンド

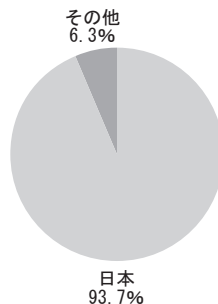
	第16期末
	2016年7月15日
損保ジャパン-T CW外国株式マザーファンド	33.8%
SJAMラージキャップ・バリュー・マザーファンド	26.7%
SJAMスモールキャップ・マザーファンド	25.4%
損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド	5.7%
ISHARES MSCI EMERGING MKT ETF	4.7%
損保ジャパン日本債券マザーファンド	1.9%

（注）比率は第16期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

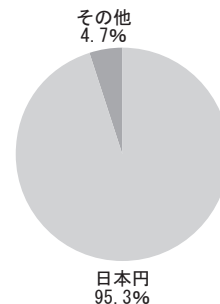
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は第16期末における純資産総額に対する評価額の割合です。資産別配分および国別配分のその他には、現金等が含まれます。

■純資産等

（ハッピーエイジング20）

項目	第16期末
	2016年7月15日
純資産総額	7,416,738,892円
受益権総口数	6,682,092,823口
1万口当たり基準価額	11,099円

※当期中における追加設定元本額は1,316,566,721円、同解約元本額は1,133,015,060円です。

■当該投資信託の組入資産の内容

※全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

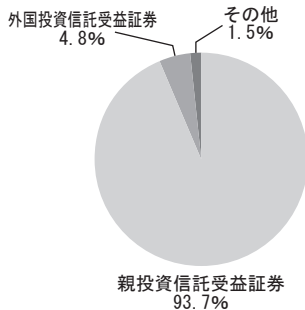
（ハッピーエイジング30）

○組入ファンド

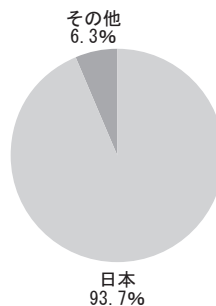
	第16期末
	2016年7月15日
SJAMラージキャップ・バリュー・マザーファンド	22.9%
損保ジャパン-TCW外国株式マザーファンド	21.8%
SJAMスモールキャップ・マザーファンド	21.8%
損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド	19.4%
損保ジャパン日本債券マザーファンド	7.8%
ISHARES MSCI EMERGING MKT ETF	4.8%

（注）比率は第16期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

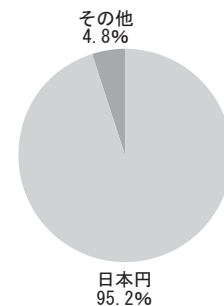
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は第16期末における純資産総額に対する評価額の割合です。資産別配分および国別配分のその他には、現金等が含まれます。

■純資産等

（ハッピーエイジング30）

項目	第16期末
	2016年7月15日
純資産総額	9,226,785,122円
受益権総口数	7,757,372,343口
1万口当たり基準価額	11,894円

※当期中における追加設定元本額は963,924,983円、同解約元本額は701,088,669円です。

■当該投資信託の組入資産の内容

※全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

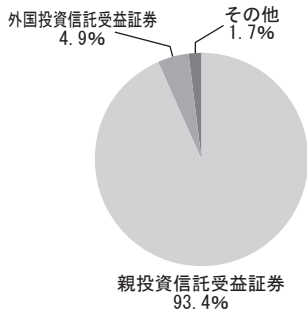
（ハッピーエイジング40）

○組入ファンド

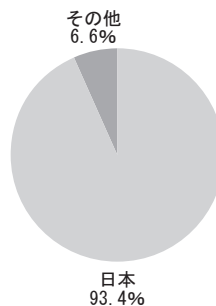
	第16期末
	2016年7月15日
損保ジャパン日本債券マザーファンド	32.1%
SJAMラージキャップ・バリュウ・マザーファンド	16.6%
SJAMスモールキャップ・マザーファンド	15.7%
損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド	14.9%
損保ジャパンーTCW外国株式マザーファンド	14.0%
ISHARES MSCI EMERGING MKT ETF	4.9%

（注）比率は第16期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

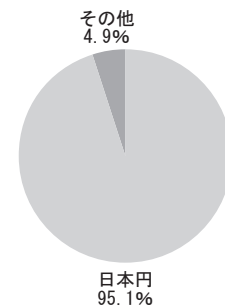
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は第16期末における純資産総額に対する評価額の割合です。資産別配分および国別配分のその他には、現金等が含まれます。

■純資産等

（ハッピーエイジング40）

項目	第16期末
	2016年7月15日
純資産総額	11,857,174,350円
受益権総口数	9,383,307,551口
1万口当たり基準価額	12,636円

※当期中における追加設定元本額は1,288,216,954円、同解約元本額は864,776,270円です。

■当該投資信託の組入資産の内容

※全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

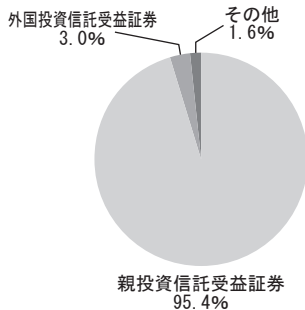
（ハッピーエイジング50）

○組入ファンド

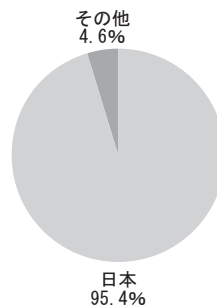
	第16期末
	2016年7月15日
損保ジャパン日本債券マザーファンド	56.4%
損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド	11.2%
SJAMスモールキャップ・マザーファンド	9.9%
SJAMラージキャップ・バリュウ・マザーファンド	9.8%
損保ジャパンーTCW外国株式マザーファンド	8.2%
ISHARES MSCI EMERGING MKT ETF	3.0%

（注）比率は第16期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

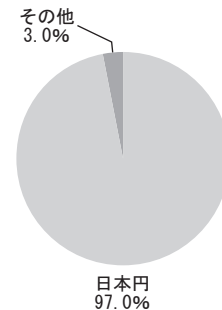
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は第16期末における純資産総額に対する評価額の割合です。資産別配分および国別配分のその他には、現金等が含まれます。

■純資産等

（ハッピーエイジング50）

項目	第16期末
	2016年7月15日
純資産総額	5,689,949,958円
受益権総口数	4,374,450,230口
1万口当たり基準価額	13,007円

※当期中における追加設定元本額は730,303,162円、同解約元本額は502,519,916円です。

■当該投資信託の組入資産の内容

※全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

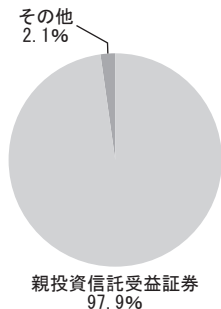
（ハッピーエイジング60）

○組入ファンド

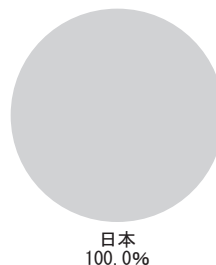
	第16期末
	2016年7月15日
損保ジャパン日本債券マザーファンド	81.2%
損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド	6.2%
損保ジャパンーTCW外国株式マザーファンド	4.2%
SJAMラージキャップ・パリュウ・マザーファンド	3.2%
SJAMスモールキャップ・マザーファンド	3.2%

（注）比率は第16期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

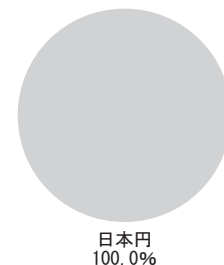
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は第16期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

■純資産等

（ハッピーエイジング60）

項目	第16期末
	2016年7月15日
純資産総額	3,737,464,193円
受益権総口数	2,910,020,966口
1万口当たり基準価額	12,843円

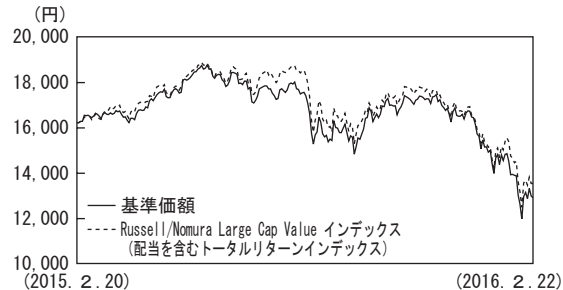
※当期中における追加設定元本額は720,837,714円、同解約元本額は465,830,338円です。

■組入上位ファンドの概要

※組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過および全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<S J A Mラージキャップ・バリュー・マザーファンド>

○基準価額の推移



・ベンチマーク（Russell/Nomura Large Cap Value インデックス（配当を含むトータルリターンインデックス））の推移は、2015年2月20日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

○組入上位10銘柄

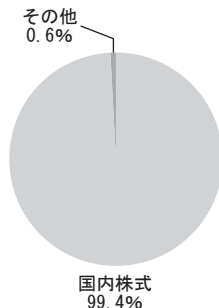
	銘柄名	業種	比率
1	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	7.4%
2	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	7.1%
3	本田技研工業	輸送用機器	6.3%
4	新日鐵住金	鉄鋼	5.8%
5	JXホールディングス	石油・石炭製品	5.6%
6	ヤマダ電機	小売業	5.5%
7	ジェイエフイーホールディングス	鉄鋼	4.8%
8	住友金属鉱山	非鉄金属	4.8%
9	フジ・メディア・ホールディングス	情報・通信業	4.8%
10	三菱商事	卸売業	4.7%
組入銘柄数		27銘柄	

○1万口当たりの費用明細

(2015年2月21日～2016年2月22日)

項目	
売買委託手数料 (株式)	57円 (57)
合計	57

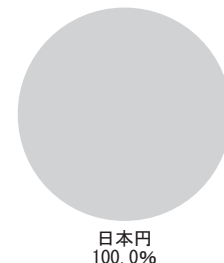
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

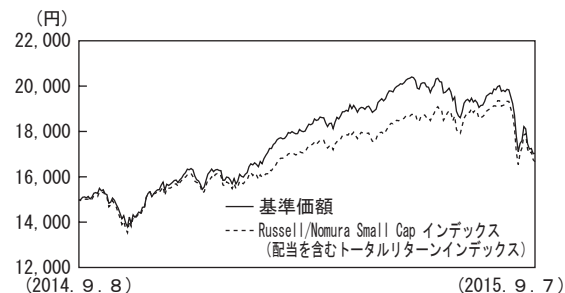
(注2) 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については7ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2016年2月22日）現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

<S J A Mスモールキャップ・マザーファンド>

○基準価額の推移



・ベンチマーク (Russell/Nomura Small Cap インデックス (配当を含むトータルリターンインデックス)) の推移は、2014年9月8日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

○組入上位10銘柄

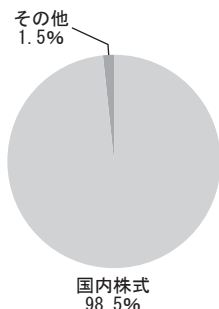
	銘柄名	業種	比率
1	大和工業	鉄鋼	3.2%
2	ケーズホールディングス	小売業	3.1%
3	テレビ朝日ホールディングス	情報・通信業	2.3%
4	ゼビオ	小売業	2.3%
5	エフ・シー・シー	輸送用機器	2.2%
6	NIPPPO	建設業	2.2%
7	レンゴー	パルプ・紙	2.2%
8	エディオン	小売業	2.2%
9	大同特殊鋼	鉄鋼	2.2%
10	阪和興業	卸売業	2.1%
組入銘柄数		80銘柄	

○1万円当たりの費用明細

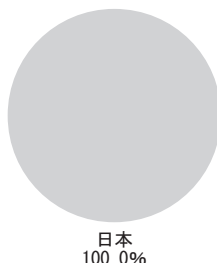
(2014年9月9日～2015年9月7日)

項目	
売買委託手数料 (株式)	81円 (81)
合計	81

○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万円当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

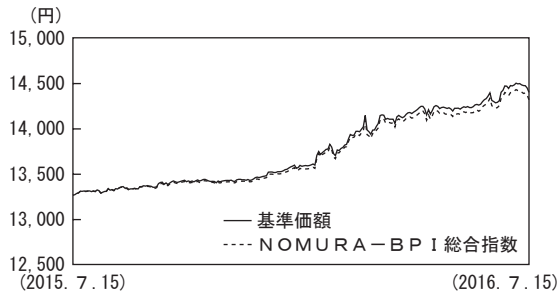
(注2) 1万円当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については7ページ(1万円当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日(2015年9月7日)現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

<損保ジャパン日本債券マザーファンド>

○基準価額の推移



・ベンチマーク (NOMURA-BPI 総合指数) の推移は、2015年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

○組入上位10銘柄

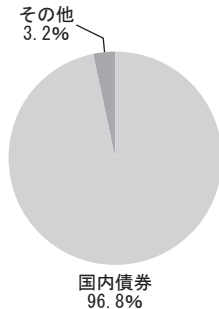
	銘柄名	債券種類	償還日	比率
1	365 2年国債	国債証券	2018/6/15	12.6%
2	342 10年国債	国債証券	2026/3/20	5.2%
3	341 10年国債	国債証券	2025/12/20	5.0%
4	157 20年国債	国債証券	2036/6/20	4.9%
5	363 2年国債	国債証券	2018/4/15	4.9%
6	152 20年国債	国債証券	2035/3/20	4.5%
7	151 20年国債	国債証券	2034/12/20	4.5%
8	156 20年国債	国債証券	2036/3/20	4.1%
9	100 20年国債	国債証券	2028/3/20	2.9%
10	150 20年国債	国債証券	2034/9/20	2.8%
組入銘柄数			64銘柄	

○1万口当たりの費用明細

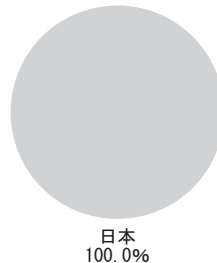
(2015年7月16日～2016年7月15日)

項目	
その他費用 (その他)	0円 (0)
合計	0

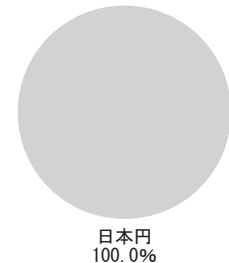
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

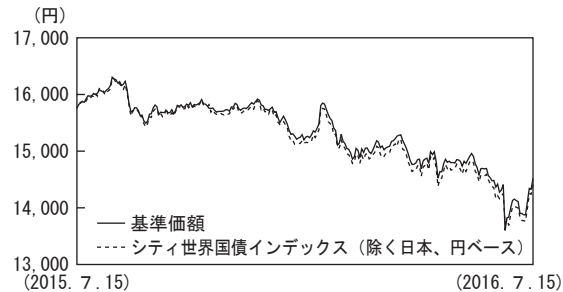
(注2) 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については7ページ(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日(2016年7月15日)現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

<損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド>

○基準価額の推移



・ベンチマーク（シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース））の推移は、2015年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

○1万口当たりの費用明細

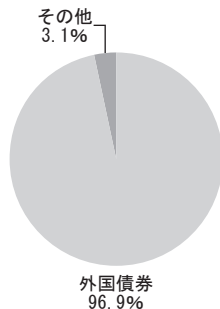
(2015年7月16日～2016年7月15日)

項目	
その他費用 (保管費用) (その他)	6円 (5) (0)
合計	6

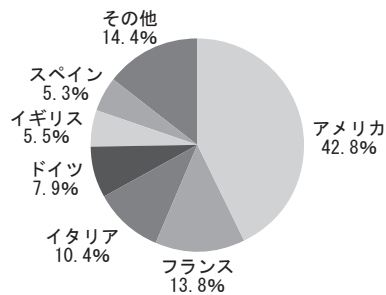
○組入上位10銘柄

	銘柄名	債券種類	通貨	償還日	比率
1	US TREASURY N/B 0.75% 2018/04/30	国債証券	アメリカ・ドル	2018/4/30	6.6%
2	US TREASURY N/B 1.5% 2023/03/31	国債証券	アメリカ・ドル	2023/3/31	5.2%
3	FRANCE O. A. T. 4.25% 2017/10/25	国債証券	ユーロ	2017/10/25	5.0%
4	US TREASURY N/B 1.25% 2021/03/31	国債証券	アメリカ・ドル	2021/3/31	4.0%
5	FRANCE O. A. T. 0.5% 2026/05/25	国債証券	ユーロ	2026/5/25	3.9%
6	US TREASURY N/B 1.625% 2026/05/15	国債証券	アメリカ・ドル	2026/5/15	3.6%
7	US TREASURY N/B 1.375% 2021/01/31	国債証券	アメリカ・ドル	2021/1/31	3.6%
8	BUNDESSCHATZANW 0.0% 2018/06/15	国債証券	ユーロ	2018/6/15	3.1%
9	US TREASURY N/B 0.875% 2017/05/15	国債証券	アメリカ・ドル	2017/5/15	2.6%
10	BTPS 0.65% 2020/11/01	国債証券	ユーロ	2020/11/1	2.4%
組入銘柄数				121銘柄	

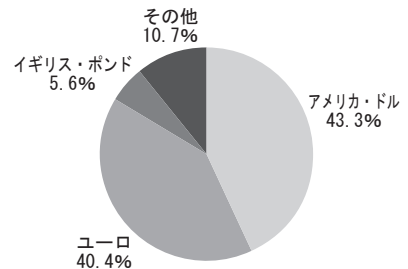
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

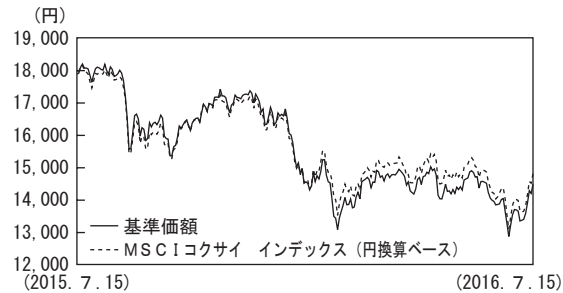
(注2) 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については7ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2016年7月15日）現在のものです。資産別配分および国別配分のその他には、現金等が含まれます。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

<損保ジャパン-T CW外国株式マザーファンド>

○基準価額の推移



・ベンチマーク（MSCI Cokosai インデックス（円換算ベース））の推移は、2015年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

○1万口当たりの費用明細

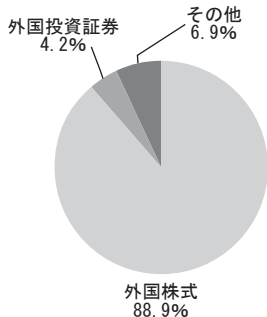
（2015年7月16日～2016年7月15日）

項目	
売買委託手数料 （株式） （投資証券）	17円 (16) (0)
有価証券取引税 （株式） （投資証券）	2 (2) (0)
その他費用 （保管費用） （その他）	12 (12) (0)
合計	31

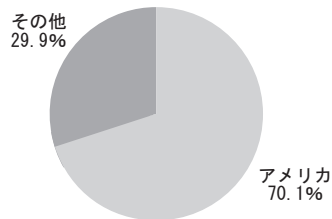
○組入上位10銘柄

	銘柄名	業種	通貨	比率
1	ALPHABET, INC	情報技術	アメリカ・ドル	2.0%
2	CHUBB LTD	金融	アメリカ・ドル	1.8%
3	FACEBOOK INC-A	情報技術	アメリカ・ドル	1.7%
4	CVS HEALTH CORPORATION	生活必需品	アメリカ・ドル	1.7%
5	VISA INC-CLASS A SHARES	情報技術	アメリカ・ドル	1.7%
6	SALESFORCE.COM INC	情報技術	アメリカ・ドル	1.7%
7	AMERICAN TOWER CORP	金融	アメリカ・ドル	1.6%
8	PEPSICO INC	生活必需品	アメリカ・ドル	1.5%
9	CELGENE CORP	ヘルスケア	アメリカ・ドル	1.3%
10	COMCAST CORP-CL A	一般消費財・サービス	アメリカ・ドル	1.2%
組入銘柄数			263銘柄	

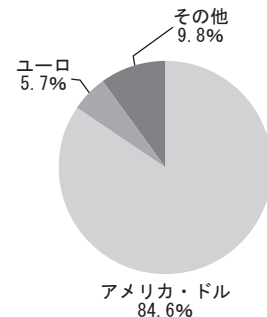
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。
 (注2) 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については7ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。
 (注3) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2016年7月15日）現在のものです。資産別配分および国別配分のその他には、現金等が含まれます。
 (注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

■指数に関して

○当ファンドのベンチマークについて

当ファンドの総合ベンチマークは、個別資産毎のベンチマークを基準資産配分比率で加重平均したもので個別資産毎のベンチマークは次の通りです。国内株式：東証株価指数（TOPIX）、国内債券：NOMURA-BPI総合指数、外国債券：シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）、外国株式：MSCIコクサイ インデックス、（円換算ベース）、エマージング株式：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円換算ベース）、短期資産：有担コール翌日物

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）とは、東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時（1968年1月4日終値）の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に計算したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村証券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。NOMURA-BPIに関する一切の知的財産権その他一切の権利は、すべて野村証券株式会社に帰属します。野村証券株式会社は、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

シティ世界国債インデックスは、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はCitigroup Index LLCに帰属します。また、Citigroup Index LLCは同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

JPMorganGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

JPMorganGBI-EMグローバル・ディバースファイドは、J.P. Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。同指数の著作権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。



損保ジャパン日本興亜
アセットマネジメント